

## スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の防除を 徹底しましょう！

今年は暖冬で推移したため、本田や水路において多くの貝が確認されております。本貝は移植直後の葉身や葉鞘が軟らかい稲を食害することから、田植え後は以下の対策を徹底してください。

### 【水稲栽培期間の対策について】

#### 1) 田植え後の水管理

田植え後2～3週間は浅水管理（理想は水深1cm程度）とする。

※普通期水稲は初期生育と梅雨の時期が重なるため、大雨で浅水管理が難しい場合が多くジャンボタニシの食害を受けやすくなるので注意してください。

#### 2) 水口網の設置

水路を介した侵入を防止するため、取水口や排水口に9mm目合いのネットや金網を設置する。

※網目が大きいと貝がすり抜けたり、網目が小さいとゴミで詰まり易くなるため目合いには気を付けてください。ネットに貝などが溜まったら取り換えてください。

#### 3) 貝の捕殺および卵塊の処理

本田内や水路のジャンボタニシを捕殺するとともにコンクリート畦畔や稲に産み付けられた卵塊は水中に落とす。

※鮮やかなピンク色の状態の卵塊を水の中に落とすと孵化しません。

※稲を食害するのは殻高15mm以上の貝で、食害期間は移植後2～3週間までなので、特に移植後2～3週間は圃場内の貝を重点的に拾い取りましょう。

#### 4) 薬剤による防除

登録薬剤を散布し、殺害および食害防止を図る。

※稲が5葉期（田植え後3週間程度）になるとほとんど食害されなくなりますが、薬剤防除を行ったにもかかわらずまとまった降雨の影響で食害が止まらず、5葉期までに多くの欠株が予想される場合は、追加の薬剤防除を検討してください。

※使用する農薬の特性を踏まえて使用しましょう（表1参照）

表1 水稲栽培時の防除薬剤

農薬名	使用量 (10a当り)	使用時期	使用回数	効果	注意事項
スクミノン	1～4kg	移植直後～ 移植後3週間	2回以内	殺貝・ 食害防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湛水状態(3～5cm)で均一散布し、散布後7日間は湛水状態にして、落水やかけ流しはしないこと。</li> <li>・スクミノンとジャンボたにしくんは合わせて2回以内の使用とすること</li> <li>・水田以外では絶対使用しないこと</li> </ul>
ジャンボたにしくん	1～2kg				
メタレックスRG粒剤	0.7～1.4kg				
パダン粒剤4	4kg		6回以内	食害防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・殺貝剤(スクミノンなど)とは同時に使用しないこと。</li> <li>・併用する場合は殺貝剤の効果が切れてから使用すること。</li> </ul>
スクミンベイト3	2～4kg	本田初期 (発生時)	—	殺貝・ 食害防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湛水状態(3～5cm)で均一散布し、散布後7日間は湛水状態にして、落水やかけ流しはしないこと。</li> </ul>

【注意事項】

- ・用水路への薬剤処理は禁止されております。
- ・本剤には人体に有害な寄生虫がいる場合がありますので、素手で取り扱わないでください。
- ・詳細につきましては、香川県農業試験場病害虫防除所ホームページを参照ください。



スクミリンゴガイによる被害圃場



スクミリンゴガイ

病害虫防除所インターネットホームページ

URL: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/byogaichuboj/index.html>

